

## 航空宇宙特集の発刊に際して

常務執行役員  
防衛・宇宙セグメント長  
兼 民間機セグメント長

阿 部 直 彦  
Naohiko Abe



航空宇宙特集の発刊に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

当社における航空宇宙事業は、防衛・宇宙セグメント、民間機セグメント並びに三菱重工航空エンジン株式会社(MHIAEL)においてそれぞれ防衛・宇宙、民間航空機、航空エンジンに分かれて事業を展開しています。技術的な裾野が広く、将来的に他の事業分野への波及効果が期待できる一方で、防衛・宇宙事業は政府予算によるところが大きく、事業規模は横ばいで推移しています。また、民間航空機及び航空エンジン事業では、目先の新型コロナウイルスの感染拡大による甚大な影響と回復の遅れへの対応に加え、根本的には世界市場におけるコスト競争の激化と技術革新への対応が課題となっています。

こうした課題認識のもと、防衛事業では、世界水準の製品の提供を通じて安定的な事業運営を続けながら、これまで培ってきた技術等を活用して周辺分野並びに新規事業への展開を進めています。宇宙事業においては、低価格かつ信頼度の高い打上げ輸送サービスを実現する基幹ロケット H3 の開発を進めるとともに、ロケット以外の事業にも積極的に取り組んでいます。民間航空機及び航空エンジン事業では、技術開発における期間/コスト縮減に取り組むとともに、構造 Tier1 事業や航空エンジン事業における収益性の改善を目的とした更なる生産効率向上とコスト競争力強化を図り、次期開発プログラムに参画するための活動を開始しています。ボンバルディア社から買収した CRJ 事業では、リソースの最適化と PMI<sup>※1</sup>を推進しています。

本号では、航空宇宙事業拡大に向けてこれまで取り組んできた、あるいは、現在取り組んでいるプロジェクトについて、研究・開発の成果や最新状況及び今後の展望を紹介します。

防衛・宇宙事業では、航空機の軽量化/低コスト化のための材料に関する新しい技術や H3 ロケット他宇宙製品の開発状況について広範囲に紹介します。

民間航空機及び航空エンジン事業では、市場のコロナ禍からの回復が待たれる中、IoT や産業用ロボットを活用した生産システムの開発等、競争力の更なる強化に向けた QCD<sup>※2</sup> 改善のための技術を紹介します。

本特集が私共の活動へのご理解を深めて頂く一助となれば幸いです。今後とも、ご指導・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※1 PMI: Post Merger Integration

※2 QCD: Quality Cost Delivery